

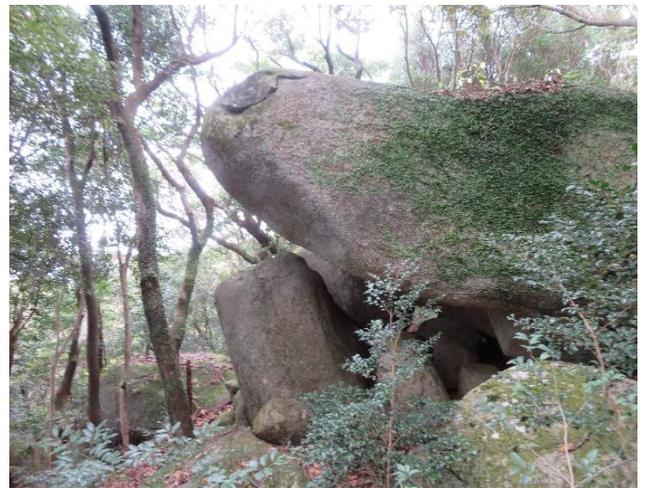
◎「唐人駄場の自然岩石群の踏査」を実施

・・・巡回コースを模索！

先日12月5日(月)午前中、松尾地区の唐人駄場周辺に所在する自然岩石群の踏査を「観光商工課」「生涯学習課」「土佐清水ジオの会」が協働して実施した。踏査にあたったのは、観光商工課稲田誠課長補佐、生涯学習課市史編さん室田村(室長)、土佐清水ジオの会富田無事生会長の3名である。周辺の地理に詳しい富田無事生会長を先頭に臼落地区北部から白皇山第2峰周辺を約2時間にわたり踏査した。この日は、午後から夕方にかけて雨天が続いたが、幸いなことに午前中は曇り空で天候が持ち、雨は降らなかった。

調査に先立ち、臼落地区に所在する「民宿青岬」を経営する西田久子さんに臼落地区を訪れる観光客の動向につき1時間ほどお話を伺った。これによると「ここを訪れる観光客の皆さんは、一過性の、短期間の観光が目的ではなく、この地の自然や環境の豊かさに惹かれて長期間滞在する方が多い。中には地質や岩石を採取して調べたり、植物を研究する方もいる。臼落地区などの足摺半島南端部は、豊かな自然や景観がたくさんあり、これらは人工的に造り出される物ではない。自然のつくり出す造形美であり、これらはいわば宝の山である。これを観光にも生かし、ジオパーク活動と連携し、土佐清水市の素晴らしさを訪れる多くの方々に見ていただけるように取り組んでいかない手はない。」…概ねこのようなお話であった。西田さんの故郷土佐清水市に対する熱い思いをビシビシと感じたことであった。これは「土佐清水市ジオパーク構想」の考え方とも一致する大変貴重な意見であると思う。

お話を伺いし、自然破壊につながらない環境上の配慮を十分に行ったうえで、珍しい自然岩石群を巡見できるような案内板、場所によっては木と木の間にロープを張るなどの巡回コースを設定してはどうかと考える。調査結果が固まり、コースが決まれば、ほとんどが国有地であるため、林野庁の許可を正式に受けて、このコースを周知することが必要だろう。観光商工課、生涯学習課、土佐清水ジオの会が連携し、この巡回コース設定について、今後も継続して取り組んでいきたい。



↑ 蛇頭岩



↑ 岩のオブジェ(自然の積み石)



↑ 男根石



↑ 立柱石

地元「金剛福寺 1200 年大祭」が行われる！・・・

12月4日(日)、開創1200年を記念した「1200年大祭」が足摺岬に所在する金剛福寺で開催された。法要の他、稚児行列・インド舞踊・地元のシンガーソングライターさかいゆうさんのライブ・墨絵画家茂本ヒデキさんのライブペインティング・餅投げ・祝賀会等の様々なイベントが催された。

市史編集委員会からも東近伸副委員長と田村(委員長)が大祭にご案内を受けた。金剛福寺は、『新市史』「第3章中世」において、度々登場し、市史を語る上でも欠くことができない。この大祭の様子は、高知新聞12月5日付朝刊27面に概要が掲載されている。

祝賀会では、さかいゆうさんと席が近くとなり、歴史の話や市史のことでたくさん話をする事ができた。話をしている、ゆうさんは歴史に関心があり、その重要性をきちんと把握して勉強していることが分かった。また、法要した僧侶の中に中学校時代に社会科を教えた生徒が3人いた。みんな立派になっており、月日の経つ早さに今更ながらに驚いたことだった。

